

まほろば

平成30年度
11月8日(木)
第11号
常盤中学校報

常盤中学校閉校式典 & 思い出を語る会

11月3日(土)、常盤中学校の閉校記念式典が挙行されました。式典には、主催する能代市・能代市教育委員会や来賓、小学生、旧職員、地域の方など、240名の方からご臨席を賜りました。

式典では、能代市長様から、これまでの功績を称えるとともに、まっすぐ成長するスギのように、新しい舞台に立っても夢に向かってまっすぐ、ふるさと能代の人材になってほしいという激励のことばをいただきました。

校長先生からは、小・中合同運動会や学校林活動など、諸行事で一人一役以上の役割を担当し、一生懸命取り組む姿に感動したことや、地域に見守られ多くの人に支えられていることへの感謝の言葉。そして、常盤中で過ごした日々を胸に、ふるさと・常盤を誇りに思い、大切にす気持ちを持ち続けてほしいという願いを込めたあいさつがありました。

生徒代表のあいさつは、生徒会長の小林彪華さんが、小学1年生から中学3年生まで学んだ校舎と常盤への思い、感謝の気持ち、そしてこれから進む道を力強く歩むことを誓いました。

式典が終わった後は、生徒会主催によるアトラクションがありました。生徒会スローガン「結～これまでの軌跡、これからの奇跡～」の下、全校生徒23名が、72年を振り返るプレゼンテーションを行いました。全校合唱「大地の歌」で始まり、昭和22年開校当時の校舎や生徒の様子を写真で紹介しました。また、常盤寮(1964年～2004年)の生活の様子を写真だけでなく、食事や勉強の様子を寸劇にしたり、当時の寮生2名へインタビューをしたりしました。さらに、常盤中学校同窓会の先輩たち6名からは、昭和20年代頃歌われていた「ふるさと 常盤の想い 応援歌(常盤青年団歌)」を歌とエールで生徒たちを激励してくれました。

午後3時からは、閉校記念事業実行委員会(P.T.A.会員)主催による「常盤中学校の思い出を語る会」がプラザ都を会場に行われ、参加者91名が在校時の思い出や常盤への思いなどを熱く語り合いました。

式典並びに語る会にご臨席いただいた皆様、そして閉校事業実行委員会として準備を進めてこられたP.T.A.の皆様には、ご多忙中にもかかわらず本当にありがとうございました。とても感動する一日を皆様と共有することができました。

また、これまでご支援いただきました関係各位にお礼を申し上げますとともに、生徒への変わらぬご支援をお願い申し上げます。



常中生23名の一生懸命な姿に 感動!



校長先生のあいさつ



生徒代表のあいさつ(生徒会長:小林彪華さん)



同窓会員による応援歌



寮の生活をインタビュー



常盤寮の食事の様子



全員で「ふるさと」を合唱



全校合唱



小学生と一緒に「ありがとうございました」



思い出を語る会(プラザ都)

- 13日(火) 能代っ子ふるさと会議(2年生参加・発表、市文化会館、13:30)
- 14日(水) 生徒朝会(ニュース)
- 20日(火) 指定訪問(授業研究会)
- 21日(水) 職員会議
- 22日(木) 常盤中・東雲中交流事業～拉致問題&校舎見学(東雲中、13:30)
- 26日(月) 集金袋配布日
- 28日(水) 生徒朝会(スマイルミーティング)、ALT来校
- 30日(金) 3年生実力テスト、部活動テスト休み～12/2 ★12/3(月) 第3回全校テスト

